



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」

R.I.会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 永田壮一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」

熊本グリーンRC会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30

■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文

■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年12月11日】

第1283回

2017-2018年度 第20回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

国歌「君が代」

「友と語ろう」(熊本グリーンRCの歌)



来訪者紹介 (河野 景治 会長)

卓話者

写真家 長野良市 氏

友情の握手

会長スピーチ (河野 景治 会長)

12月に入り2回目の例会となりましたが、次週は今年最後の例会、「年忘れ家族会」と相成っております。また、クラブの年次総会という事でロータリー年度においての一つの大きなエポックで、次年度の役員・理事の構成が決議されます。先週の例会後、指名委員会が開催され、本田会長エレクトによる次年度役員・理事案が採択、定例理事会決議もなされました。来週の年次総会の議案と相成っておりますので、宜しくご協力お願い致します。

そして、同じく理事会にて、先週卓話を頂きました井上正敏様が所属の「一般社団法人アートワーク熊本みふね」への「いいこと応援プロジェクト」での支援とクラブ会員一人

当たり3000円の寄付支援が決議されました。こちらクラブ会員のご協力をお願い致します。このプロジェクトは、熊本地震で被災した熊本輩出の画家、田中憲一氏の作品の修復・保存を目的としたもので、公の助成が行き届かない部分を支援していく事で、その活動の一助となるものと存じます。また、1月の第一例会は、5日の市域RC・新年合同例会と相成っております。当日は12:30分開催ですが、既にお知らせの通りホストを務める熊本北ロータリークラブから、正式に当日の運営協力依頼がまいっております。当日は早めのご参集、午前11:00の集合をお願い申し上げます。幾つかの役割分担の他にも、来場者の出迎え・会場整理等々、「ガバナー公式訪問」や「IM」の時と同様に、グリーンクラブ全員でお手伝いできればと存じます。何卒、宜しくお願い申し上げます。

幹事報告 (中島 三千代 幹事)

■ 報告事項 (その他のロータリー関係)

①「八代RC創立60周年記念式典並びに祝宴」のご案内

日時 平成29年2月24日(土)

受付 13:00～

式典 14:30～

講演 16:05～

(有)ソルト・ファーム塩工房

代表 小出 史 (こいで ふみ) 氏

卓話予定

12/18 「年忘れ家族会」※年次総会を例会の時間に開催。

12/25 「定款第8条第1節に基づき」例会取り止め

1/5(金)「熊本市域17RC合同 新春合同例会」(12:30～例会/13:00～14:00懇親会)

★熊本グリーンRC会員は、ホストクラブの熊本北RCのサポートで11:00には集合)

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

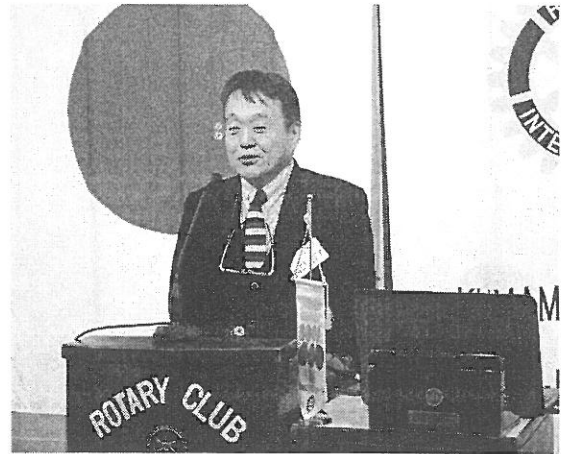
3. 例会プログラム

紹介者：石浦 順一 会員

卓話者：写真家 長良 良市 氏
「平成から新時代を考える」

プロフィール

長野良市（ながのりょういち）写真家
1957年阿蘇生まれ青山学院大学
日本写真芸術専門学校報道写真卒業
株式会社阿蘇アースライブラリー



卓話者 長野良市氏

4. 閉会・点鐘



左 紹介者 石浦順一会員
右 卓話者 長野良市氏

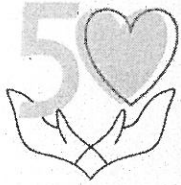
韓国米山学友会が総会を開催 — 家族・知人と輪広げて —

11月18日、ソウル市内で韓国米山学友会の定期総会が開催され、学友約55人のほか、韓国と日本のロータリー関係者、台湾米山学友会・関西米山学友会の役員、さらに今回は学友の家族や知人も多数参加して、総勢約80人の盛会となりました。総会の第1部では、韓国から20人以上が参加した「感謝 in 熊本」を含む1年間の活動報告や、次期役員ジョンボムの選出が行われ、次期会長には全炳台現会長の連任が決定しました。第2部では、韓国米山学友会が支援する日本人



留学生3人への奨学金授与式をはじめ、景品抽選で盛り上がり、全員で交流を深めました。

参加した学友からは「忘れていた米山奨学生としての感謝の心を思い出した」「家族や知人にも訪れる学友会だ」などの声が聞かれ、日本から出席した第2610地区米山記念奨学副委員長の村中高次郎氏は「初参加だが、まるで所属クラブの例会のような安心感で、初対面の学友とも会話がはずみました。日本人留学生に学友会から奨学金が手渡されたときには、思わず感動を覚えました。韓国学友会は少しずつ、でも確実に前進していると感じた総会でした」と、感想を寄せてくれました。今後も同学友会では家族的な雰囲気大切に、さまざまな分野で活躍するメンバーが互いに助け合える環境を作り、学友同士の連携・連帯を強めていく方針です。（取材協力：韓国米山学友会広報委員会）



RI 会長と米山学友らが懇談 — ロータリー研究会 —

東京・台場で11月20～23日、第46回ロータリー研究会が開催され、その最終日の午後、イアン H.S. ライズリー国際ロータリー(RI)会長夫妻と米山学友・平和フェローとの懇談会が開かれました。米山学友からは、アメリカ出身のコリーン・シュムコーさん(2014-16/東京葛飾RC)、中国出身の于咏さん(2005-07/名古屋中RC)と包翠芳さん(2015-17/山形南RC)、ネパール出身のバタライ・ビノドさん(2014-16/東京世田谷南RC)の4人が参加。それぞれ自己紹介の中で、米山奨学金が学業達成の大きな支えとなり、ロータリーとの出会いが現在の活動や目標につながっていることを、感謝の言葉と共にRI会長夫妻に伝えました。

また、よねやま親善大使を務める于咏さんが



米山記念奨学事業についてプレゼンテーションしたほか、他の学友も積極的に質問。会長夫妻はそれらの質問にこやかに答えて、自身の考えや関連するロータリーの活動を紹介するなど、参加者全員にとって、身近にRI会長の意見に触れる貴重な機会となりました。

寄付金速報 — 今年もあと半月、ご送金はお早目に —

1月までの寄付金は前年同期と比べて3.6%増(普通寄付金:0.4%増、特別寄付金:5.2%増)、約2,500万円の増加となりました。11月単月の寄付実績としては、前年度に及ばなかったものの、約7億1,600万円の寄付累計額は直

近16年の中で最高額となりました。皆様からのご支援に厚く御礼申し上げます。12月29日(金)までに着金した特別寄付金について翌年1月末までに確定申告用領収証を発行いたします。ご確認よろしくお願ひします。

全国学友会会長セミナー開催

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが11月18日、都内で開催され、全国33の学友会の代表者32人が参加しました。選考・学務委員会担当理事である水野 功常務理事からご挨拶をいただいた後、事務局から補助費や報告義務などの実務説明を行いました。その後は4グループに分かれ、魅力ある学友会の運営について活発な議論が交わされました。各グループの発表や質疑応答、岩邊俊久事務局長からの講評後、懇親会では参加者同士のLINEグループを作るなど、打ち解けた雰囲気の中で親睦を深めてい

ただきました。今回のセミナーを通じて、地区を越えた学友の輪が広がり、今後の情報共有・連携が進むことが期待されます。

